

# 現業協だより No.9

福島県職員連合労働組合現業協議会 2020.1.20

## 現業協議会第15回定期大会開催

現業協議会は1月11日に福島市のグリーンパレスで定期大会を開催しました。県内各地から28名が参加、県職連合内海中央執行委員長、県本部現業評議会紺野議長、紺野長人県議会議員より来賓のあいさつをいただきました。内海委員長のあいさつでは、県当局が春闘要求書を未だに受け取らない問題に触れ「絶対にあってはならない由々しき問題だ。県職労本部として早急に対応する」と力強いあいさつがあり、県職労本部との連携をさらに強めていくことを確認しました。

続いて、大会議長・大会役員をそれぞれ選出し、大会議長には郡山支部の二瓶代議員を選出し、大会を進めていきました。

一般経過報告の中では、参加者より道路パトロールの民間委託が提案されている職場があると報告を受けました。これに対して執行部から、31日開催の土木部会交渉で誰のための委託なのか、あらためて直営を訴える。万が一、委託になったとしても、業務の質は維持できているのか。委託費はどうなっているのか。きちんと検証し、再度直営に戻すように取り組んで行く。直営の方が県民の為には良いことは検証されている。絶対にあきらめずに県民を巻き込んだあらたな運動に取り組んでいく旨の答弁がありました。

さらには、当局の不誠実な姿勢を問題視し、自治労本部や県職労本部から技術的支援と協力を受け、交渉のあり方については抜本的に見直すように申し入れをお願いする。状況によっては関係機関への申し立てを含めて検討することも確認しました。

続いて、組織強化に向けた取り組みや、私たちの権利を最大限活かし、県民に質の高い公共サービスを提供できるような政策提言の強化策を含む2020年度運動方針（案）、2020年度事業計画及び予算要求（案）、2020年新役員体制（案）など全ての議案が承認されました。

最後に田中会長から、役員一丸となり必死に取り組んで行く！組合員のみなさんもあきらめずについてきていただきたい！と2020年を闘いぬく決意とともに団結を誓い第15回定期大会は終了しました。

私たちは、県民に一番近いところで県民の生活を守るために働いています。これから取り組みは、私たちが責任のある仕事をするために必要な最低限の労働条件を確保する取り組みです。これからも現業職場への攻撃は厳しさを増しますが、次世代の安全・安心を担保するためには「現場力」の再生が急務となっていることを、県民のみなさんにしっかり伝えながら、取り組みを強化していきたいと思います。多くのみなさんのご協力をお願いします。

大会役員にご協力いただいた代議員のみなさんお疲れさまでした！！

### 2020年役員体制

会長	田中光一	副会長	草野浩仁
副会長	菅野人司	事務局長	小林祐一
"	小林淳	事務局次長	二瓶正則

裏面につづく↓

# 2020年具体的な取り組みについて

現業協議会はこの1年間を反省し、運動の強化と見直しを進めていきます。

## 1 現業協役員がやるべきこと

- ・現業協役員を中心に、「見える運動」を進めていきます。  
　　昨年同様に、できる限り職場訪問を実施し組合員と意見交換を進めます。
- ・現業協各支部体制の再構築  
　　常任委員が中心となり県内全ての支部で現業協の組織体制を再度構築します。  
　　専門員の先輩方も含め、体制を強化していきます。
- ・運動が低迷しないように、役員一人一人が積極的に学習会に参加し、様々な法律・制度の学習や他県の状況など**情報収集**を行い運動に活かしていきます。
- ・誰でも参加できるイベント等を企画し、**全員参加型**の活動を進めていきます。
- ・県民に現業職場を理解してもらえるように、**活動の場を広げて**いきます。災害ボランティア地域の清掃活動、NPOなどと連携し様々な慈善活動に参加していきます。

## 2 組合員がやるべきこと

- ・一人一人が業務の中で、周りの職員から、そして県民から必要とされるように意識し「**新たな技能職**」の確立に向けて、無理のない取り組みをしましょう。
  - ・これからさらに厳しい情勢が続きます。現業協の**最大の武器**である「**交渉**」の進め方を変える為にも、基本組織である県職労に結集し、一丸となって変えていく必要があります。さらには、各職場分会の運動も、人事評価制度により県民の為に言いたいことが言えない現状が見られます。そういう現状を踏まえ、私たち現業協組合員が中心となって取り組んでいく必要があります。
- 是非、県職労の取り組みにも積極的に参加しましょう。**
- ・定年まであと数年だから。という「あきらめ」は捨て、県民生活を守っているというプライドを思い出してください。若い職員が入職し、職場が活性化することを目指して**現場のため**県民のためが一番優先されるような福島県にしていきましょう！

## 今後の日程

- 1月25日（土）～26日（日）県本部現業評議会臨時大会 いわき市  
2月 7日（金）～ 8日（土）東北地連現業評議会県職部会幹事会・学習会 岩手県盛岡市  
2月15日（土）～16日（日）自治労ブロック別活動家育成セミナー 宮城県仙台市  
2月29日（土） 県職連合第29回臨時大会 郡山市  
　　〃 現業協議会第1回常任委員会 郡山市

## 編集後記

この1年間、組合活動を通して様々な職種の方とお話をすことができました。職場を訪問すれば、お忙しい中、時間を割いていただき、現場の問題点や現業の必要性をお聞きすることができました。現場で働いている多くの組合員は、県民のために必死に仕事をしています。もちろん、あたり前のことですが、もう少し、現場で働く者が報われる仕組みになって欲しいと思います。